

## 用語解説

用語	解説
ADSL	一対のメタル回線を使用。上りと下りで用いられる帯域幅が異なるため伝送速度も非対称（下り方向で広帯域を使用しているため、下り方向が高速）である。また、音声帯域と異なる帯域を使用しているため、同一の回線上で電話サービスとの同時利用が可能。
Ajax	Asynchronous JavaScript + XMLの略。Webページのリロードを伴わずにサーバとXML形式のデータのやり取りを行なって処理を進めていく対話型Webアプリケーションの実装形態。
ARIB	Association of Radio Industries and Businessesの略。電波法で規定される「電波有効利用促進センター」として総務大臣より指定を受けた社団法人の名称。通信・放送分野における調査・研究・開発、および標準化機関と連携した技術的検討などの事業を行なっている。
ASP	Active Server Pagesの略。Webサーバの拡張機能の一つ。動的にWebページを生成する。
BS	放送専用の衛星（Broad-casting Satellite）のこと。
C/S	クライアントサーバシステム。分散型コンピュータシステムの一つ。
CATV	有線テレビジョン放送（ケーブルテレビ）のこと。放送の再送信を行うほか、地域情報チャンネルやニュース、スポーツ、音楽などの各種専門チャンネルを有する。引込端子数が500端子を超え、複数の自主放送チャンネルを有する施設は「多チャンネル型CATV」。
CIO	Chief Information Officerの略。企業内の情報システム・流通を統括する担当役員で、最高情報責任者や情報統括役員などと訳される。
CMS	Contents Management Systemの略。Webコンテンツに掲載するテキストや画像、レイアウト情報などを一元的に保存・管理し、サイトの構築や編集を行なうソフトウェアのこと。
CS	通信衛星（Communication Satellite）のこと。
eラーニング	パソコンやコンピュータネットワークなどを利用した教育形態。
FWA	Fixed Wireless Accessの略。加入者系無線アクセスシステム。P-MP（1対多）方式があり、それぞれ最大156Mbps、10Mbpsの通信が実現可能。
GIS	Geographical Information Systemの略。デジタル化された地図（地形）データと、位置に関連したデータを、統合的に扱う情報システム。
IP	Internet Protocolの略。インターネットによるデータ通信を行なうために必要な通信規約。
IPv6	Internet Protocol Version 6の略。現行のインターネットプロトコルに改良を施した次世代インターネットプロトコル。管理できるアドレス空間の増大、セキュリティ機能の追加、優先度に応じたデータの送信などが可能。
NPO	Non Profit Organization（非営利組織）の略。利益を目的としない組織。
OFDM	Orthogonal Frequency Division Multiplexingの略。デジタル変調方式の一つで無線などで用いられる。
RFID	Radio Frequency Identificationの略。微小な無線チップにより人やモノを識別・管理する仕組み。
RSS	Rich Site Summaryの略。Webサイトの見出しや要約などの情報を構造化して記述するための文書形式の総称。主にサイトの更新情報の配信に用いられている。
SNS	Social Networking Serviceの略。人と人とのつながりを促進・サポートする、コミュニティ型のWebサイトで、会員制のサービスのこと。
SOA	Service Oriented Architectureの略。大規模なシステムを「サービス」の集まりとして構築する設計手法。
STB	Set Top Boxの略。テレビに接続することで様々なサービスを受けられる機器の総称。
Web2.0	2004年頃から登場し始めた新しい発想に基づいたWeb関連の技術や、Webサイト・サービスなどの総称。
Webサイト	ひとまとまりに公開されているWebページ全体のこと。

用語	解説
XML	Extensible Markup Languageの略。マークアップ言語の一つ。文書やデータの意味や構造を記述するために使われる。
アカウントビリティ	社会の了解や合意を得るために業務や研究活動の内容について対外的に説明する責任のこと。
アクセシビリティ	情報やサービス、ソフトウェアなどがどの程度利用しやすいかをあらわす言葉。
アフィリエイト	ウェブサイトやメールマガジンに企業サイトへのバナー広告やテキスト広告を張り、ユーザがその広告を経由して商品を購入したり会員登録すると、広告掲載もとのサイトやメールマガジンの管理者に報酬が支払われるというシステム。
イーサネット	約10年前に標準化されたLANの規格。現在、最も広く利用されている10Base-Tは、通信速度10Mbps、最大伝送距離100mまでのスター型LAN。最近では100Base-TXなどの通信速度100MbpsのFast Ethernetの普及が進んでおり、1Gbps仕様もある。
インタラクティブ	英語としてのもともとの意味は「相互に作用する」などといった意味であるが、コンピュータ用語としては、電話やケーブルテレビなどの双方向的な電子通信システムや、ユーザーとウェブサイト運営者との間に双方向的なコミュニケーションが存在していること、ユーザーの選択に応じて、表示される情報の内容が刻々と変化すること。
イントラネット	WWW等インターネット向けに開発された技術や製品を転用して構築した、社内TCP/IPネットワーク。安価に構築できる、最新技術を取り込みやすいといったメリットがある。
オープン志向	サービス提供者が保有する情報やシステムなどへのアクセス方法を公開し、それを元に新たな機能を追加したサービスを開発可能にするなど、他者による自社システム等の利用を促す志向。
オープンソースソフトウェア	インターネットなどを通じて、ソフトウェアの設計図にあたるソースコードを無償で公開し、誰でもそのソフトウェアの改良、再配布を行なえるようにすること。また、そのようなソフトウェア。Open Source Softwareの略でOSSのこと。
キオスク端末	情報が表示された液晶画面に、触れて操作する情報端末。街頭や店舗内等に設置される。
クライアント	複数マシン上のプログラムがネットワークを介して連携しながら処理を進めるクライアント/サーバ・モデムで、サービスを依頼する側のコンピュータまたはプログラムを指す。原意は顧客。
グループウェア	企業内LANを利用し、情報共有等グループによる協調作業を支援するソフトウェアの総称。
コンテンツ	内容、中身。特にマルチメディア・アプリケーションを作成する際に必要な静止画や動画、音といった素材を指す。単に素材の意味だけではなく、アプリケーションやサービスの総称としても使われ始めている。
サーバ	ネットワーク上でサービスや情報を提供するコンピュータのこと。インターネットではウェブサーバー、DNSサーバー（ドメインネームサーバー）、メールサーバー（SMTP/POPサーバー）等があり、ネットワークで発生する様々な業務を内容に応じて分担し集中的に処理。 ウェブサーバー：ホームページなどのコンテンツを収め情報提供を行なうもの DNSサーバー：IPアドレスとドメイン名の変換を行なうもの SMTP/POPサーバー：電子メールの送受信を行なうもの
住基カード	正式には住民基本台帳カード。住民基本台帳ネットワークシステムにおいて本人確認に利用するICカードのこと。
情報リテラシー	インターネット等の情報通信やパソコン等の情報通信機器を利用して、情報やデータを活用するための能力・知識のこと。インターネット上での情報収集・発信能力やマナー、機器やソフトの活用能力、各種情報の分析・整理能力等のこと。
セキュリティポリシー	企業等において、情報セキュリティを確保するための対策や体制等を定めた基本方針。
ソリューション	業務上の問題解決や要求の実現を行なうための情報システム。
地域SNS	SNSは全国（あるいは世界）規模のサービスだが、これを地域における利用や運用に重点を置いたもの。
地上デジタル放送	地上波テレビ放送をデジタル化したもの。

用語	解説
データ放送	BS（放送衛星）やCS（通信衛星）、地上波等を使って不特定多数の受信者向けに、データを送信すること。テレビの放送波の一部を利用して、文章やイラスト、写真などのデジタルデータを放送することが可能。
デジタル・ディバイド	インターネットやパソコン等の情報通信技術を利用できる者と利用できない者の間に生じる格差。
デバイス	コンピュータ周辺機器の総称。
テレビコマース	デジタルテレビ放送の双方向サービスを利用して行なう電子商取引のこと。
テンプレート	もともとは定型書式という意味の英単語で、何かを作成する際のもとなる定型的なデータやファイルのこと。
トラックバック	ブログ機能の一つ。別のブログへリンクを張ると、リンク先の相手に対してリンクを張ったことを通知する仕組み。
トランスコーディング	ある形式で圧縮・符号化された動画データなどを、別の形式に変換したり解像度などの異なるデータに変換すること。
バイタルセンサー	心拍・呼吸・血圧・体温など生体（バイタル）情報をとるために使用するセンサー。
バナー広告	インターネット広告の一種。Webサイトに広告の画像を貼り、広告主のWebサイトにリンクすること。
バリアフリー	障害を有する人が利用にあたって支障がないような設計をすること。または、そのように設計されたもの。
光ファイバー	通信に使用されるケーブルの一種。データを光信号に変換して伝送するケーブルのことである。データ伝送速度の速さ、一度に伝送できるデータ量の大きさ、共に非常に優れている点の特徴。
フェーズ	連続した行動を段階的・階層的に分けてあらわすこと。
プラットフォーム	アプリケーションソフト動作の基盤となるOSの種類や環境、設定などのこと。
ブロードバンド	FTTH、DSL、ケーブルインターネットをはじめとした高速・超高速通信を可能とする回線↔ ナローバンド回線
ブログ	ホームページよりも簡単に個人のページを作成し、公開できる。個人的な日記や個人のニュースサイトなどが作成・公開されている。
プロバイダ	インターネット接続業者。
ベストエフォート型	サービスの品質（QoS）の保証がない通信ネットワークや通信サービス。
ポータルサイト	サーチエンジン、ニュース速報、オンラインショッピング、掲示板（BBS）等インターネット上の様々な情報が集約されたサイト。インターネット利用者が、ウェブに接続した際に最初に訪れる「入り口（ポータル）」となるためにこのように呼ばれる。
マイレージ	多利用顧客向けのポイントプログラム。
ミドルウェア	OS上で動作し、アプリケーションソフトに対してOSよりも高度で具体的な機能を提供するソフトウェア。
無線LAN	ケーブルによる配線を使わず、無線通信でデータの送受信をするLANのこと。
ユーザビリティ	Webサイトやソフトウェアの「使いやすさ」のこと。優れたユーザビリティとは簡単な操作で目的の情報にたどりついたり、使用時に戸惑いやストレスを感じさせないこと。
ユニバーサルサービス	あらゆるユーザーが妥当なコストで通信サービスを受けられることを意味し、「広く、あまねく」を保障する考え方。過疎地や離島などの、採算性の悪い地域にもユーザーからの要求があれば、サービスの提供が要求される。
ユビキタス	「いつでも、どこでも、何でも誰でもアクセスが可能」な環境のこと。ユビキタスとは「いたるところに偏在する」という意味のラテン語に由来した英語。